

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



SAKURA

日本医療機能評価機構認定



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 54



副院長
秋満 俊介

平成28年はまだ半分しか経っていませんが、福岡にしては珍しい大雪に始まり、最近ではあの熊本地震までいろいろなことがありました。そして、今年のさくら病院も大きな転機を迎えています。

まず開業以来30年余り経過した病院建物が老朽化したため、今年11月に新病院が完成する予定です。本館5階、別館4階の2棟構成で、道路をはさんで渡り廊下で連結します。

新病院では外来患者さんの動きがスムーズに流れるようになり、診察室も増えます。病棟の編成も最近のニーズの変化により若干変わります。また、心臓リハビリテーションが可能な訓練室も完成します。患者さんが快適に利用できるように、我々職員もフレッシュな気持ちでがんばりたいと思います。次に診療録(カルテ)を電子化する計画も同時に進んでいます。これは全職種に関わる大きなプロジェクトであり、6月から3ヶ月の間ミーティングを重ねて作り上げていきます。

この春に医局内で大きな人事異動がありました。長年当院を支えておられた江頭芳樹副院長が退職されました。外来診療のため週3日は勤務されますが、後は介護施設などの福祉事業に専念されることとなりました。また6年間勤務された知念正明医師も退職されました。一方、マレーシアから帰国された江頭省吾医師と、わたくし秋満が副院長に任命されました。ますます地域医療に貢献できるよう精進致します。どうかよろしく御願い致します。

新任ごあいさつ

副院長 江頭 省吾



この度、5月16日からさくら病院の副院長として着任しました江頭省吾（えがしら しょうご）と申します。当院へは昭和60年頃、当時「江頭病院」と言われていた時に2～3年ほど当直医師として勤務した時期があります。今回は立場の違いもあり、懐かしさとともに少し緊張も覚えています。

私は昭和59年に大学を卒業して以来、循環器内科医として特に冠動脈インターベンション（心臓カテーテルの治療）を中心に取り組んできました。前任地はマレーシア国のクアラルンプールでしたが、当地でただ一人の日本人医師として日本人の診療を行うとともに、日本人を含む様々な国籍の患者に対して冠動脈へのステント治療を行ってきました。私にとって海外勤務は初めてだったので、赴任当初は日本との医療の違いに多少戸惑いを覚えましたが、時間とともに次第に慣れていきました。しかし、6年ぶりに帰国してみると、逆に日本の医療に適合させるのに苦労しています。

今後は当院で地域医療のため努力する所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年の4月より福岡大学病院総合診療部より派遣となりました鈴山裕貴（すずやま ひろき）と申します。総合診療部という部署については知らない方が多いと思われますが、主な役割は大学病院にある総合診療部で原因不明の発熱や症状の解明などを行っていく「病院総合診療」、そしてさくら病院や開業医の先生方が日々研磨されている、地域に密着した「家庭医療」に分けられます。

私は医学部を卒業し、福岡大学病院で臨床研修を行い、その後福岡大学病院総合診療部に入局しました。福岡大学病院での勤務としましては、やはり不明熱や原因不明の病気を検索していくことをやっておりました。ただ先にも書かせていただいた通り、総合診療部の役割としては地域に密着した家庭医療も習熟する必要があり、これらは大学病院ではなかなか勉強する機会がありませんでしたが、今回さくら病院で地域医療を勉強させていただくこととなりました。まだまだ未熟ではございますが、どうぞ宜しくお願いします。

医師 鈴山 裕貴



朝日放送

アサデス。より取材を受けました！

最近芸能人のがんのニュースがテレビで流れたのを受け、朝日放送局より当院で行っているアミノインデックス検査の取材依頼がありました。6月17日（金）に朝日放送「アサデス」にて放送され、実際にリポーターの方が検査を受けました。

アミノインデックス（AICS）検査とは、血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人の

アミノ酸濃度バランスの違いを統計的に解析することで、がんに関連しているリスクを評価する検査です。1回の採血（5ml）で複数のがんを同時に検査する事が出来ます。あくまでもがんの可能性を検査するものにはなりますが、がんは早期発見が重要となりますので、気になる方はぜひ受けてみてください！



第18回 さくらフォーラム開催！

[開催日時] 7月5日(火) 19:00～ [場 所] ソラリア西鉄ホテル

毎年梅雨の時期に開催している「さくらフォーラム」も今年で第18回を迎えました。今回は例年より多くの開放型登録医の先生方や地域医療連携室の方々にご参加いただきました。

まず始めに院長より開催の挨拶、そして医局・看護部の紹介。今年は病診連携情報として緩和ケア病棟長 楠原浩之医師より当院の緩和ケア病棟についてや面談の流れなどを説明させていただきました。続いて特別講演では、福岡大学病院 鍋島茂樹先生より「総合診療と地域医療」という演題で講演をしていただきました。医療分野では新しい「総合診療」という診療科について詳しく説明していただき、大変勉強になりました。

その後の懇親会では、食事をしながら普段あまり顔を合わせる事のない他医療機関や施設の方々と情報交換ができ、お酒も入り和やかな雰囲気となりました。このような場を大切に、今後の医療連携に活かしていきたいと思います。



福岡大学医学部 総合診療部 教授 鍋島 茂樹 先生

平成28年度

第1回

さくら病院ボランティア・スタッフ
学びと交流のつどい

[開催日時] 6月18日(土) 14:00～16:00 [場 所] さくら病院 会議室

当院では平成17年度より、ボランティアとスタッフが共に学び合い、交流を深めるために『学びと交流のつどい』を開催しています。これまで、平成17・18年度は年5回、平成19年度からは年3回開催し、今回が38回目となります。

今回は、「訪問診療について」をテーマに外来の山下佳代看護師より事例紹介も交えながら講演して頂きました。往診は、「患者様の依頼に応じて自宅に訪問して医療を行うこと」、訪問診療は、「定期的・計画的に自宅に訪問して医療を行うこと」という往診と訪問診療の違いについて説明がありました。患者さんの状態が落ち着いている時に訪問診療を行うことで、病状の悪化を防ぎ、在宅

療養を長く続けていけるとのことでした。また、訪問看護ステーションや訪問薬剤師、ケアマネジャー、訪問介護等とも協力し、自宅でも吸引・点滴・在宅酸素・中心静脈栄養・モルヒネ持続皮下注等、入院で行っている医療に近づく努力をされています。

ボランティアさんからは、独居でも在宅緩和ケアは可能なのか？入院と在宅の費用ではどちらが高いのか？などの質問があり、活発な意見交換ができました。

最後まで責任と情熱をもって在宅を支えていきたいという、山下看護師はじめ訪問スタッフの熱意を感じられる、とても有意義な時間となりました。



部署
紹介

在宅部（在宅医療介護センター）

平成28年4月1日付けでさくら病院在宅医療介護センターの統括管理者として勤務させていただいております竹中維奉子と申します。6月も終わろうとし、早いもので就職して3ヶ月が過ぎようとしております。さくら病院の在宅医療介護センターは、**ケアプランセンター・訪問看護ステーション・ヘルパーステーションと3つの事業所**で成り立っています。

看護師である私は看護師人生を訪問看護で終わりたいと思っていましたので水を得た魚のような（少し大げさですが）気持ちです。ケアプランセンター・ヘルパーステーションの管理をするのは初めてなので戸惑うこともあります。スタッフの支えで毎日やりがいがあり充実した日々をめまぐるしく過ごしております。

さて、在宅医療介護センターについて少し説明させていただきます。先にも述べさせていただいたとおり、在宅医療介護センターはケアプランセンター・訪問看護ステーション・ヘルパーステーションがあり、病院に隣接しております。

ケアプランセンターはケアマネジャーが介護保険利用のお手伝いをさせていただきます。スタッフは30～60代4人（男性1名女性3名）で毎日飛び回っております。

訪問看護ステーションは血圧や脈をはかり身体の具合をみて、お薬の確認や身体拭きや入浴介助・床ずれの手当て・人工呼吸器やカテーテルを入れている方の援助・自宅での見取りなど幅広く在宅のお手伝いをさせていただきます。スタッフは40～50代の病院での経験豊かな人材が元気にお宅に伺っています。

ヘルパーステーションは掃除や調理の家事の援助から身体拭きや入浴の介助等、利用者様のお手伝いをさせていただきます。スタッフは30～60代の4人で賑やかに細かい所まで気がつくサービスを提供しています。

3事業所ともにスタッフが人生経験豊富でたくさんの世代の方の、ご相談に応じることができると思いますが、フットワーク軽く活動しておりますのでお気軽にお立ち寄り下さい。



主任ケアマネジャーの活動

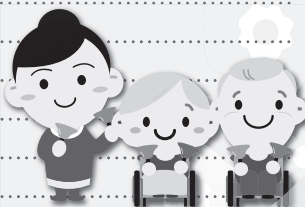
主任 ケアマネジャー 渡邊 香代子

城南区には84名のケアマネジャーがおり、そのうち32名が主任ケアマネジャーとして介護の相談や介護保険利用のお手伝いをさせていただきます。主任ケアマネジャーは、ケアマネジャーとして5年の実務経験後、一定の研修を受け取得することができます。主な役割はケアマネジャーの皆さんの後方支援です。

活動のひとつとして、それぞれが4つのグループに分かれ活動を行っています。今回は私が所属する「わくわく隊」の活動について紹介させていただきます。

目的としては、家に引きこもりがちな地域の方々に少しでも外出するきっかけをつくる事で、城南区別府にある宅老所「よりあい」の所有の古民家をお借りして主任ケアマネジャーがお茶とお菓子を用意してお待ちしています。地域のケアマネジャーが利用者様をお連れしたり、ご家族が息抜きに来られたり、デイサービス等から遊びに来られる方もおられます。利用者様がハーモニカを演奏され自然に歌の輪ができたり、私達もハンドベルを披露しています。披露というより、皆さんに助けられてなんとか曲になっているという状況ですが喜んでいただいていると思います。（笑いのネタ提供状況）

現在は年2回（1回の参加者が40名程度）ですが、今後も継続し「おしゃべりや交流の場としてホッといただける場所」「介護のつらさや愚痴も含め、リフレッシュが図れる場所」そして「介護相談等もできる場所」として根付いていけたらと考えています。



本年11月移転

さくら病院 新築移転について

現在の病院建物が老朽化(昭和58年建築、築33年)したため、近隣への新築移転を行うこととなりました。 *移転先 図1

新病院の開院は平成28年11月下旬を予定しております。

新病院は本館(南側棟)と別館(北側棟)の2棟編成となります。各病棟の病床数の変更と電子カルテの導入も併せて行う予定です。

連携先機関の皆様には、移転に伴いご迷惑をおかけすることもあるかと思ひます。ご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。



図1 移転先

新病院の病床編成(予定)

急性期病棟 43床	本館2階
地域包括ケア病棟 42床	別館3階
障害者施設等一般病棟 43床	別館2階
緩和ケア病棟 24床	本館4階



完成予想図

通所
リハビリ

院外イベント 春のバスハイク

～ 石村萬盛堂太宰府工場に行きました。～

4月中旬に院外行事として石村萬盛堂太宰府工場に行きました。晴天に恵まれ、桜の花は散り終えていましたが、山の若葉を見ながらのバスハイクとなり、たくさんの利用者様の参加でした。工場見学では、博多土産で有名な鶴乃子の製造過程や箱詰め作業をガラス越しに見る事が出来ました。窓は大きく、車椅子の方や椅子に座ったままでも十分に見る事ができ、スタッフの方からの説明を聞きながら、お茶や作りたての鶴乃子を頂きました。

隣の販売所に立ち寄ると、普段買い物や、お供え物にとたくさん買われていました。利用者様は普段より生き生きと、楽しそうなお

顔をされていたので私たちもほっとして一緒に笑顔になりました。今後も利用者様と一緒に計画を立て、喜んでいただけるようにしていきたいと考えています。



こんにちは!

医療連携相談室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

医療連携相談室では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただきます。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

医療連携相談室

TEL 092-801-7386 (事務課)

FAX 092-864-1213

担当者

医療連携相談室長

江頭省吾

療養支援看護師

井上富士子

医療ソーシャルワーカー

小川美和・松山章子・橋迫千佳・川口康子



相談受付

平 日:午前9:00~午後5:00

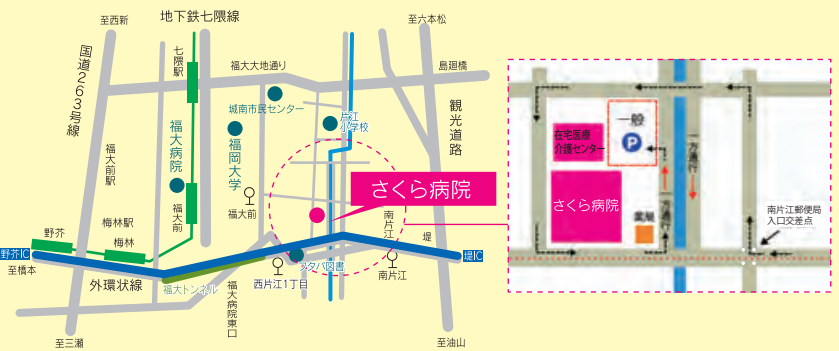
土曜日:午前9:00~午後12:30

外 来 診 察 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭 芳樹 総合診療科/内科	江頭 芳樹 総合診療科/内科	江頭 芳樹 総合診療科/内科	江頭 啓介 総合診療科/内科	江頭 啓介 総合診療科/内科	江頭 啓介 総合診療科/内科
	第2診察室	楠原 消化器科(肝臓)/内科	王寺 胃腸科/内科	秋満 循環器内科	西本 総合診療科/内科	王寺 胃腸科/内科	早田/楠原 消化器科(肝臓)/内科
	第3診察室	堀端 消化器科/内科	村上 心療内科/内科	天野 胃腸科/内科	天野 胃腸科/内科	江頭 省吾 循環器内科	井手 糖尿病内科/内科
	第5診察室		矢野 循環器内科	岩崎 リハビリ・整形外科	佐々木 朝矢 呼吸器内科	古屋 消化器科/内科	鈴山 総合診療科
午後	第1診察室	古屋 消化器科/内科	江頭 省吾 循環器内科	林 神経内科	江頭 啓介 総合診療科/内科	江頭 啓介 総合診療科/内科	
	第2診察室	秋満 循環器内科	西本 総合診療科/内科	王寺 胃腸科/内科	楠原 緩和ケア/内科	秋満 循環器内科	
	第3診察室	村上 心療内科/内科	島津 糖尿病内科	佐々木 靖 循環器(第1週のみ)	河野 糖尿病内科	堀端 消化器科/内科	
	第5診察室		山崎 消化器外科	佐々木 秀法 血液・腫瘍/内科	鈴山 総合診療科	中園/乙成 心療内科/内科	
専門(予約制)外来	午前		村上 心療内科	矢野 循環器内科	佐々木 朝矢 呼吸器内科		井手 糖尿病外来
	午後	川添 神経内科	村上 心療内科	島津 糖尿病内科	佐々木(秀) 佐々木(靖) 血液・腫瘍外来 循環器外来(第2週のみ)	楠原 緩和ケア外来	河野 糖尿病外来

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線／福大前下車1番出口より徒歩10分
- 車／天神より約30分・堤ICより約5分
(病院北側に専用駐車場があります)
- 西鉄バス／〈さくら病院前バス停下車〉の場合
 - ◎天神方面より：協和ビル前のりば片江(営)行・・・13番
 - ◎西鉄大橋駅より・・・外環1番
- 西鉄バス／〈西片江一丁目バス停下車〉の場合
 - ◎天神方面より：警固神社・三越前のりば片江(営)行・・・114番
 - 協和ビル前のりば片江(営)行・・・12・140番
 - ◎西新・飯倉方面(脇山口)より・・・95番
 - ◎博多駅方面より：博多駅前のりば片江(営)行・・・16・64番
 - バスセンターのりば片江(営)行・・・12・114番
 - ◎松原・片江方面より・・・6・12・13・16・64・95・外環・114・140番



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら



社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会

特別養護老人ホーム ライフケアしかた

社会福祉法人 桜花会

ライフケア柏原

高齢者安心ハウス

あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15

TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/>

直通TEL

事務所 092-801-7386
ユニット 092-872-5615

1内科 092-872-5611
2内科 092-872-5612
3内科 092-872-5613